



平成29年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月27日

上場会社名 株式会社 レッグス
 コード番号 4286 URL <http://www.legs.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内川 淳一郎

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 米山 誠

TEL 03-3408-3090

四半期報告書提出予定日 平成29年7月28日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	5,669	2.9	116	70.6	188	52.7	130	47.4
28年12月期第2四半期	5,839	13.9	395	31.0	398	21.9	248	30.7

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 107百万円 (43.0%) 28年12月期第2四半期 188百万円 (40.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	12.48	12.25
28年12月期第2四半期	23.46	22.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	6,330	4,579	71.4
28年12月期	6,427	4,649	71.5

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 4,520百万円 28年12月期 4,592百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		0.00		18.00	18.00
29年12月期		0.00			
29年12月期(予想)				19.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,100	2.8	800	7.2	870	0.5	600	13.0	57.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期2Q	10,840,000 株	28年12月期	10,840,000 株
期末自己株式数	29年12月期2Q	388,000 株	28年12月期	406,800 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期2Q	10,445,783 株	28年12月期2Q	10,572,736 株

(注) 株式給付信託(J-ESOP)制度導入に伴い、期末自己株式数には、信託口が保有する当社株式(29年12月期2Q100,000株、28年12月期100,000株)が含まれております。なお、信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(29年12月期2Q100,000株、28年12月期100,000株)。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、個人消費が緩やかな回復傾向にあるものの、米国や中国等の日本を取り巻く政治経済の環境変化から、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループでは、中長期的な経営戦略に基づいて、コンテンツを活用した取り組みの強化により、従来のプロモーションに加えOEM(注1)・物販等への拡大を推進してまいりました。従来のプロモーションにおいては、戦略市場である流通および日用雑貨業界を中心に、VMD商材(注2)、WEB連動キャンペーンなど、近年の顧客の販促ニーズの変化に対応した商材提供による既存顧客の深掘りと共に、その他の業界での新規顧客開拓を行ってまいりました。その一方、TV・映画やライブイベント等と連動し、積極的にコンテンツを活用したOEM・物販やコラボカフェ企画等コト消費にも注力してまいりました。引き続き、付加価値の高い事業の展開と生産性向上により収益力の強化を図ってまいります。また、働き方の改革として、意識改革と業務改革を進めることで、時間外勤務管理体制を強化しております。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、まず売上高において、アミューズメント顧客および通信顧客向け等が好調だったものの、前年同期好調だった飲料顧客および流通顧客向けのカバーが出来ず、全体としては前年同期比で減収となりました。売上総利益、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益は、前述の減収に加え、物販の中長期の収益性向上を目的とした在庫内容の見直しを引き続き実施したため、また人員増に伴う人件費の増加により、前年同期比で減益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,669百万円(前年同期比2.9%減)、営業利益は116百万円(前年同期比70.6%減)、経常利益は188百万円(前年同期比52.7%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は130百万円(前年同期比47.4%減)となりました。

(注1) 発注元企業の名称やブランド名で販売される商品

(注2) 商品展示効果を高めるため、店舗全体の空間デザインから商品の展示・陳列までを統合的に提供する商材およびサービス

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて97百万円減少し、6,330百万円となりました。これは主に、現金及び預金、商品および流動資産の「その他」が増加したものの、受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて27百万円減少し、1,751百万円となりました。これは主に、未払法人税等が増加したものの、流動負債ならびに固定負債の「その他」が減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べて70百万円減少し、4,579百万円となりました。これは主に、利益剰余金およびその他有価証券評価差額金が減少したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べて252百万円増加し2,182百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は423百万円(前年同期比171.2%増)となりました。これは主として売上債権の減少486百万円等による資金の収入があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は17百万円(前年同期は88百万円の支出)となりました。これは主として投資有価証券の取得による支出93百万円等があったものの、保険解約による収入110百万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果支出した資金は182百万円(前年同期比39.5%減)となりました。これは主として配当金の支払188百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成29年7月20日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,929,871	2,182,442
受取手形及び売掛金	2,766,932	2,278,541
有価証券	201,313	200,544
商品	410,476	487,824
その他	155,979	215,799
流動資産合計	5,464,574	5,365,153
固定資産		
有形固定資産	75,717	70,370
無形固定資産	24,595	25,466
投資その他の資産		
投資有価証券	347,698	398,909
その他	515,133	470,333
投資その他の資産合計	862,831	869,243
固定資産合計	963,144	965,080
資産合計	6,427,718	6,330,233
負債の部		
流動負債		
買掛金	841,415	806,174
未払法人税等	8,429	139,087
賞与引当金	79,610	104,304
その他	458,082	308,396
流動負債合計	1,387,537	1,357,962
固定負債		
退職給付に係る負債	203,884	211,964
株式給付引当金	10,710	16,957
その他	176,240	164,152
固定負債合計	390,835	393,074
負債合計	1,778,372	1,751,037
純資産の部		
株主資本		
資本金	220,562	220,562
資本剰余金	384,805	387,934
利益剰余金	4,022,653	3,963,429
自己株式	△184,757	△177,816
株主資本合計	4,443,264	4,394,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	93,544	77,717
繰延ヘッジ損益	—	65
為替換算調整勘定	56,107	49,025
その他の包括利益累計額合計	149,651	126,808
新株予約権	56,430	58,277
純資産合計	4,649,346	4,579,195
負債純資産合計	6,427,718	6,330,233

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	5,839,255	5,669,274
売上原価	4,078,119	4,052,712
売上総利益	1,761,135	1,616,561
販売費及び一般管理費	1,366,067	1,500,550
営業利益	395,068	116,011
営業外収益		
受取利息	2,930	2,900
受取配当金	552	221
為替差益	1,457	—
受取手数料	4,676	5,703
受取保険金	3,347	52,080
その他	3,519	12,626
営業外収益合計	16,484	73,532
営業外費用		
自己株式取得費用	10,000	—
為替差損	—	1,339
その他	3,552	92
営業外費用合計	13,552	1,432
経常利益	398,000	188,111
特別利益		
新株予約権戻入益	—	3,014
投資有価証券売却益	—	2,774
特別利益合計	—	5,788
特別損失		
本社移転費用	26,676	—
特別損失合計	26,676	—
税金等調整前四半期純利益	371,324	193,900
法人税、住民税及び事業税	151,095	122,120
法人税等調整額	△27,833	△58,593
法人税等合計	123,261	63,527
四半期純利益	248,063	130,373
親会社株主に帰属する四半期純利益	248,063	130,373

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	248,063	130,373
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,843	△15,826
繰延ヘッジ損益	△24	65
為替換算調整勘定	△62,313	△7,081
その他の包括利益合計	△59,494	△22,843
四半期包括利益	188,568	107,530
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	188,568	107,530

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	371,324	193,900
減価償却費	13,164	10,922
株式報酬費用	7,057	14,195
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,660	24,839
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	12,047	8,079
受取利息及び受取配当金	△3,482	△3,121
保険解約損益(△は益)	△3,347	△52,080
新株予約権戻入益	—	△3,014
売上債権の増減額(△は増加)	76,974	486,690
たな卸資産の増減額(△は増加)	△144,568	△103,031
仕入債務の増減額(△は減少)	101,691	△34,588
未払金の増減額(△は減少)	△17,078	△74,689
未払費用の増減額(△は減少)	111,646	△36,541
未払消費税等の増減額(△は減少)	△60,102	△24,327
その他	△10,117	13,159
小計	453,548	420,390
利息及び配当金の受取額	4,251	3,890
法人税等の支払額	△301,495	△6,339
法人税等の還付額	1	5,976
営業活動によるキャッシュ・フロー	156,305	423,918
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	—	△93,129
投資有価証券の売却による収入	—	17,135
有形固定資産の取得による支出	△70,811	△3,498
無形固定資産の取得による支出	△13,681	△11,000
保険積立金の積立による支出	△14,680	△11,085
保険積立金の解約による収入	5,992	110,989
投資事業組合からの分配による収入	4,500	12,250
その他	△186	△4,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△88,866	17,660
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△178,831	△188,936
自己株式の取得による支出	△129,800	—
自己株式の売却による収入	7,196	6,982
その他	△231	△694
財務活動によるキャッシュ・フロー	△301,666	△182,648
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,635	△6,359
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△220,591	252,570
現金及び現金同等物の期首残高	2,361,028	1,929,871
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,140,436	2,182,442

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。